

# 東濃社会教育だより No.3

## -子ども会・CSと地域学校協働活動編-



恵那県事務所  
振興防災課 振興防災係  
社会教育担当:長瀬  
〒509-7203  
恵那市長島町正家後田 1067-71  
TEL:0573-26-1111 内線 208

### 東濃子ども会連合会 理事会の様子から



5月15日(水)に、第1回東濃子ども会連合会理事会が、瑞浪市総合文化センターで開催されました。この会には、5市子ども会の理事と行政担当者が集まり、「子ども会をいかに充実させるか」について話し合われました。少子化に伴い、ジュニアリーダーのメンバーも減少しており、どの市も、ジュニアリーダーや指導者の育成が、喫緊の課題となっているようです。



#### 【「ジュニアリーダーを育成するために」委員の意見から】

- 学校にチラシを配布してボランティアを募り、メンバー獲得を目指している。
- 一度、ジュニアリーダーが0人になってしまうと、新たに人数を募るは難しい。
- インリーダー研修で、ジュニアリーダーが活躍する姿を見せれば、憧れてジュニアリーダーに入る。

### 地域学校協働活動推進員研修会がスタートしました



県と岐阜大学が共同で運営する「ぎふ地域学校協働活動センター」による研修会がスタートしました。この研修は、地域学校協働活動推進員や地域コーディネーターを育成するための研修です。東濃地区は、市の推薦を受けた社会教育委員と子供教室コーディネーター等、10名が受講しました。

廣瀬氏は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の国の動きと、地域づくりの面からの「地域住民の担い手を育成する必要性」について話されました。また、地域や学校からの意見も交えながら、地域と学校の協働の必要性を熱く語られました。参加された受講者は「学校や地域の橋渡しとして活躍したい」とコーディネーターとしての決意をもたれていました。

日時：6月6日(木)

場所：恵那総合庁舎

講師：都宮市とちぎ市民共同研究会

代表 廣瀬 隆人氏

演題：地域学校協働活動の展開

### 岐阜県社会教育主事等研修会 兼 地域コーディネーター等研修会を開催しました



日時：6月10日(月) 場所：恵那総合庁舎

講師：大正大学地域構想研究所教授 浦崎 太郎氏

演題：小中高生の地域参加と岐阜県の未来

～地域学校協働活動と地域経済の関係を探る～

浦崎氏は、地域学校協働活動の実践で文部科学大臣表彰を受賞した県立吉城高等学校(YCKプロジェクト)の実践を例に「高校生の地域貢献は、地域経済を活性化させる」ことを話されました。今、大学入試制度や高校(特に普通科)が、大きく変わろうとしています。今回、コミュニティスクール設置に向け、土岐市から6名の校長先生や教頭先生が参加してくださいました。地域と学校の連携が少しずつ動き始めています。

## CSに向けて土岐市教頭会で研修会を開催！

～今回のビッグイベント～

令和2年度より、土岐市のすべての小中学校がCS(※)となります。CSに向け、妻木小学校と肥田中学校が、モデル校として、平成29年度より実践に取り組んでいます。

今年度8月24日には、この2校の実践を通して、良さを学ぶ会が計画されています。その前段階として、教頭会では、2校の中間発表と、来年度に向け、どのようなことを準備しておけばよいかを研修しました。



※CSとは、学校運営協議会制度を取り入れた学校(コミュニティ・スクール)

### 妻木小学校の実践より

岐阜市の小学校の視察や津島市の地域学校協働活動推進コーディネーターを講師に迎え地域住民と教職員合同の拡大運営協議会を行ってきました。学校と地域が共通の目標のもと、継続して協働できる仕組みが魅力です。

#### 【生活・学習支援部会】

・ふるさと学習・読み聞かせ・調理実習支援・生活と見守り支援 等

#### 【安全・環境整備部会】

・引き渡し訓練・交通安全教室・危険箇所点検・PTA 防災教室 等

#### 【地域交流・ボランティア部会】

・運動会・音楽祭・地域行事との連携・地域伝統行事 等

### 肥田中学校の実践より

肥田ヤングスターズ(中学生)によるボランティア活動が、地域や公民館で活発に行われています。地域と学校をつなぐ【地域貢献】活動と学校と地域をつなぐ【地域人材活用】活動がうまく生かされています。

#### 【地域貢献活動】

・肥田ヤングスターズの活動企画・青少年育成会との活動連携・民生児童委員協議会との活動連携・地域行事への参加 等

#### 【地域人材活用活動】

・草刈り、壁塗りサポーター支援・玄関花飾りサポーター支援・学校安全強化サポーター支援(危険な小屋解体、安全点検に対応) 等

### 【土岐市の教頭会から学ぶべきところ】

- ・モデル校(妻木小学校、肥田中学校)の実践を聞き、CSや地域学校協働活動を学ぶ場を設けた。
- ・県事務所担当者から、次年度までに準備すべき内容を聞いて来年度に向けての準備ができた。
- ・教頭が一斉に説明を聞いたことで、共通の話題として、CSや地域学校協働活動を推進していきける。

今回の土岐市の教頭会で、「CSの説明」「CS立ち上げまでに準備しておくこと」「他市のCSや地域学校協働活動の様子」「地域学校協働活動の推進」など、県事務所からCSや地域学校協働活動の推進に向けた詳しい話をする機会がいただけました。早速、学校で開催される会議に、このプレゼンや資料を活用して周知していただける学校があるようです。これまで、東濃地区社会教育振興協議会や社会教育主事研修等で、地域と学校が協働する大切さを周知しています。しかし、教職員にとって、国や県の動きを周知する場があまりありません。土岐市の実践は、県下に誇れる素晴らしい実践でした。

これからの学校教育と10~20年後の地域づくりに向けて、教育委員会と生涯学習課(社会教育課)の連携はとても大切です。土岐市の計画的な取組から学ぶことがたくさんあります。